

福井県重複・多剤服薬多職種連携体制検討事業 ～重複多剤処方の現状とプログラムの策定～

福井県健康福祉部健康政策課
企画主査 飯島克枝

福井県重複・多剤服薬多職種連携体制検討事業

【趣旨】

高齢化の進展に伴い、加齢による生理的な変化や複数の併存疾患を治療するための医薬品の多剤服薬等によって、安全性の問題が生じやすい状況にあることから、国は、薬剤を適正に使用するように求めている。

複数の診療科・医療機関の受診により処方薬全体が把握しにくく、重複・多剤処方の適正化を図るためには、医師・薬剤師・保険者間における処方内容の情報活用や共有体制が不十分であるという課題がある。多職種連携体制を整備し、薬剤適正使用を促進させ、被保険者の健康の保持増進と医療費適正化を目指すことを目的とする。

○事業実施期間 令和2年度～ ※国保ヘルスアップ支援事業

○主な事業内容

- 1) 敦賀市における適正服薬の促進に向けた体制整備のための検討会の開催
- 2) 「敦賀市薬剤適正使用多職種連携プログラム」の作成および実践
- 3) お薬手帳に関する普及啓発に関すること
- 4) 福井県重複・多剤服薬基礎分析、事例集の作成
- 5) 福井県薬剤適正使用スタートアップ研修会の開催

★敦賀市をモデル地区として事業スタート

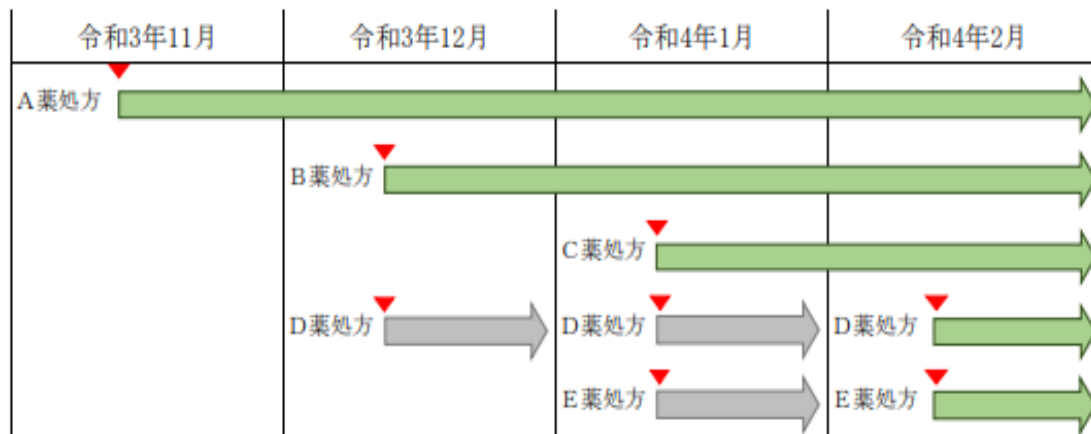
敦賀市医師会、敦賀市薬剤師会、敦賀市内医療機関（市立敦賀病院・敦賀医療センター、猪原病院）
敦賀市内訪問看護ステーション、敦賀市（保険者）、県（健康政策課・二州HWC）

R 4 年度 重複・多剤服薬 基礎分析

全市町の国民健康保険や重複・多剤服薬割合がより高いと想定される後期高齢者医療のレセプトデータを基に、重複・多剤服薬の現状を分析した。

集計条件 : 令和3年11月～令和4年2月の4カ月間を通して資格を有する被保険者を集計対象とする。

年齢基準日 : 令和4年2月1日時点



<抽出条件等>

重複：同一薬効・成分の薬剤（データホライゾンの標準定義：薬価基準収載医薬品コードの頭7桁が同じ医薬品or頭7桁が異なっても薬理作用が同じ医薬品を合わせた類似薬データベース）が同月に2以上の医療機関から処方されている人

多剤：処方日数14日以上/月の内服薬を服用している人のうち、同月に1以上の医療機関から6種類以上処方されている人

慎重投与：65歳以上の被保険者で「高齢者の安全な薬物療法ガイドライン2015」（日本老年医学会）の「特に慎重な投与を有する薬物」を処方されている場合

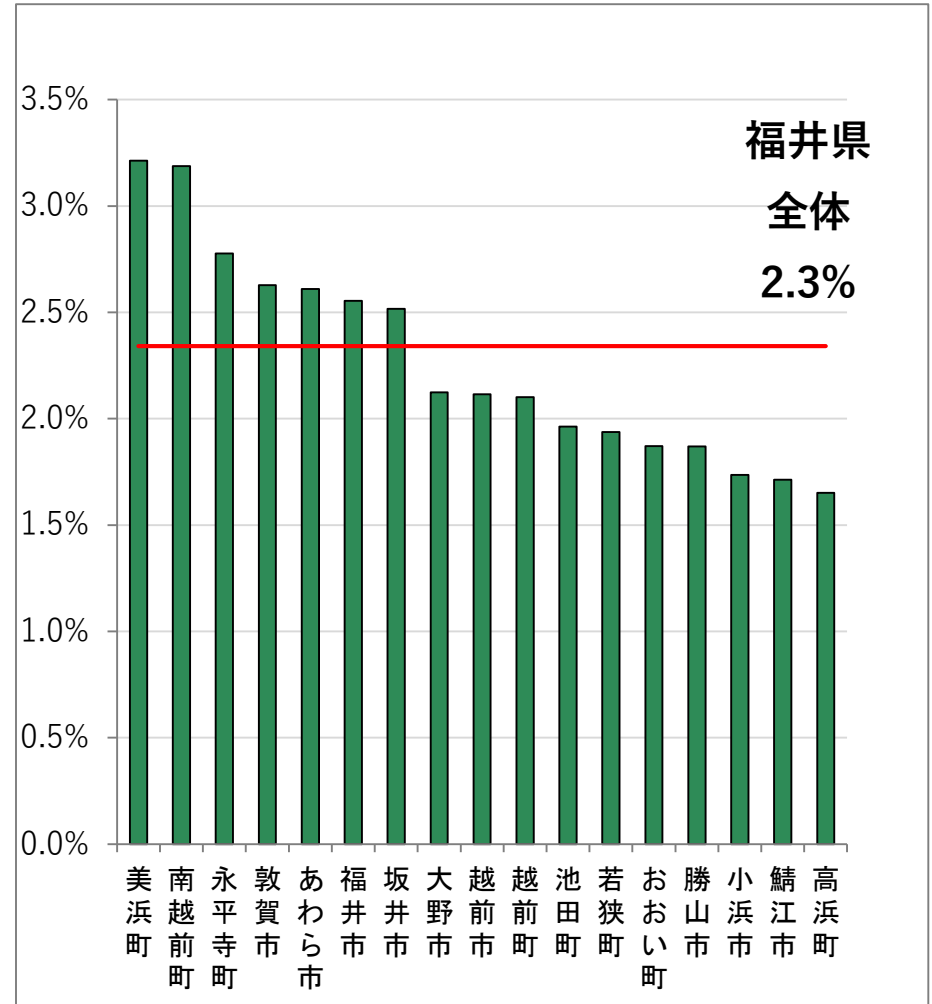
相互作用：1以上の医療機関において処方された禁忌である組み合わせを判定する。

市町別 服薬状況（重複）

市町	R4			R2
	患者数 (人)	重複服薬者 数(人)	割合 (%)	割合 (%)
美浜町	3,050	98	3.2%	2.9%
南越前町	3,325	106	3.2%	2.5%
永平寺町	5,078	141	2.8%	3.8%
敦賀市	17,051	448	2.6%	2.7%
あわら市	8,160	213	2.6%	2.5%
福井市	66,075	1,688	2.6%	2.9%
坂井市	23,127	582	2.5%	2.7%
大野市	10,174	216	2.1%	2.7%
越前市	21,226	449	2.1%	2.3%
越前町	6,233	131	2.1%	2.6%
池田町	968	19	2.0%	2.2%
若狭町	4,696	91	1.9%	2.3%
おおい町	2,405	45	1.9%	1.8%
勝山市	7,274	136	1.9%	2.1%
小浜市	8,355	145	1.7%	2.4%
鯖江市	16,868	289	1.7%	1.9%
高浜町	3,028	50	1.7%	2.0%
福井県全体	207,093	4,847	2.3%	2.6%

県全体（国民健康保険＋後期高齢者医療広域連合）

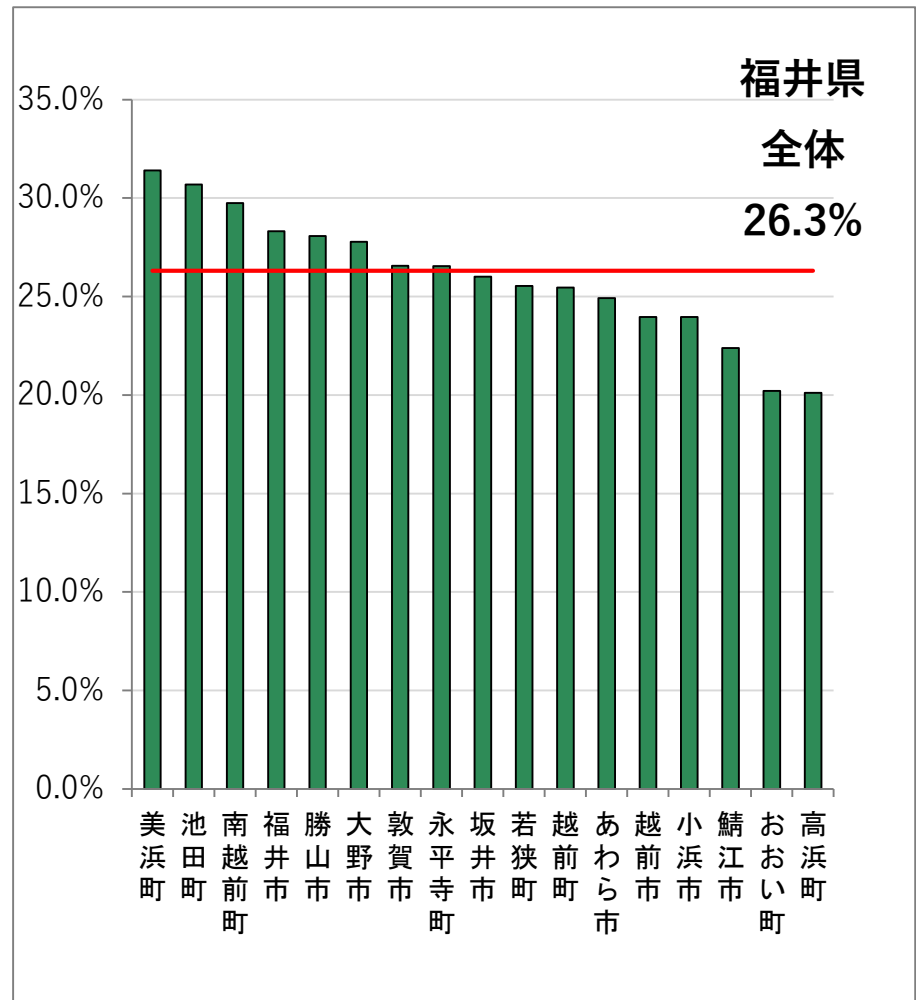
市町別 重複服薬者割合（降順）



市町別 服薬状況（多剤）

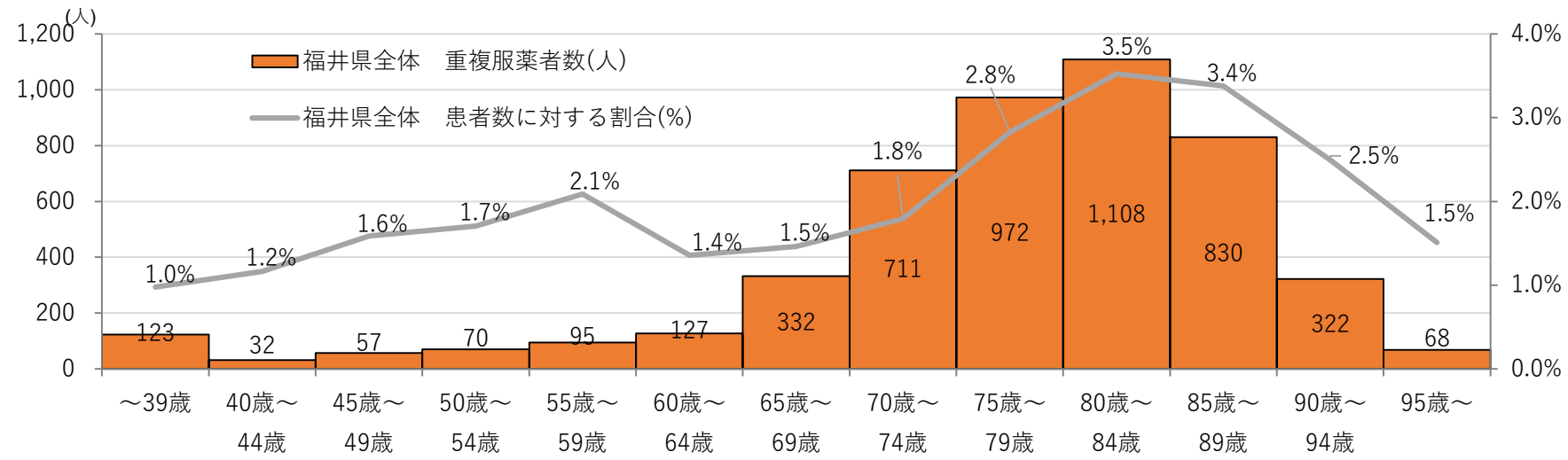
市町	R4			R2
	患者数 (人)	多剤服薬者 数(人)	割合 (%)	割合 (%)
美浜町	3,050	958	31.4%	31.6%
池田町	968	297	30.7%	28.5%
南越前町	3,325	989	29.7%	29.0%
福井市	66,075	18,712	28.3%	27.2%
勝山市	7,274	2,042	28.1%	27.3%
大野市	10,174	2,826	27.8%	27.8%
敦賀市	17,051	4,530	26.6%	25.0%
永平寺町	5,078	1,348	26.5%	26.8%
坂井市	23,127	6,016	26.0%	26.0%
若狭町	4,696	1,199	25.5%	24.6%
越前町	6,233	1,587	25.5%	25.6%
あわら市	8,160	2,034	24.9%	25.3%
越前市	21,226	5,087	24.0%	23.2%
小浜市	8,355	2,002	24.0%	23.0%
鯖江市	16,868	3,775	22.4%	22.0%
おおい町	2,405	486	20.2%	19.3%
高浜町	3,028	609	20.1%	18.9%
福井県全体	207,093	54,497	26.3%	25.6%

県全体（国民健康保険＋後期高齢者医療広域連合）
市町別 多剤服薬者割合（降順）

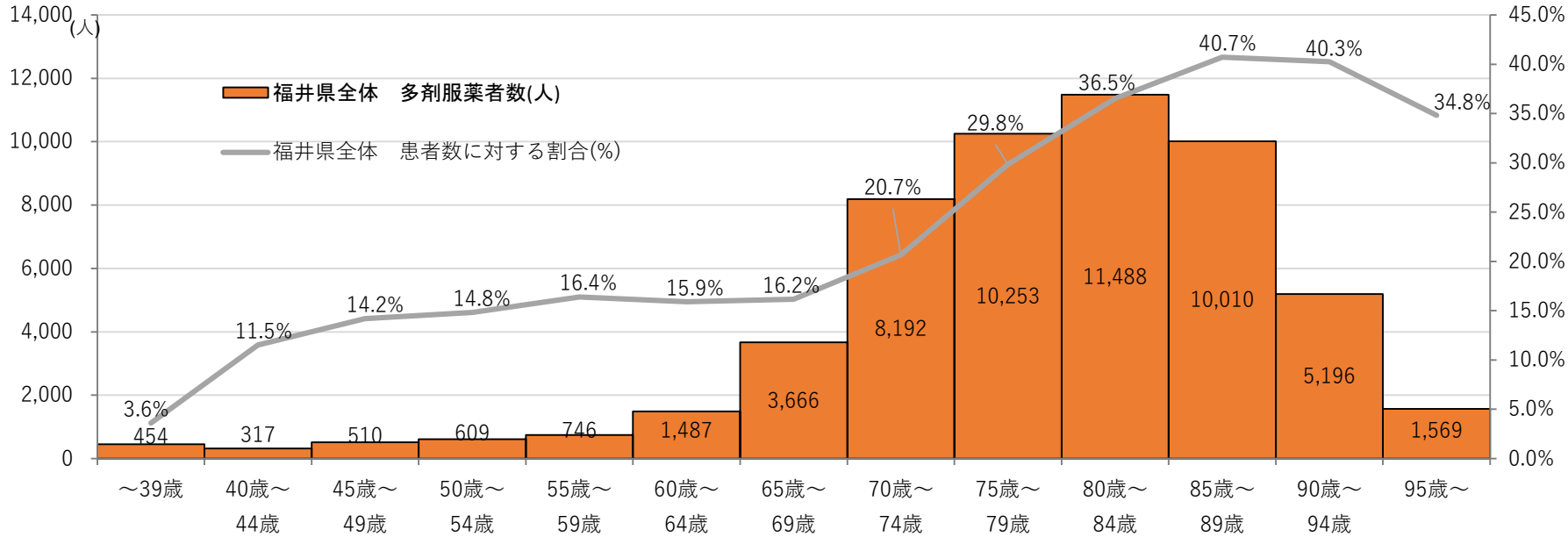


年齢階層別 服薬状況（重複・多剤）

●県全体（国民健康保険＋後期高齢者医療広域連合） 重複服薬者数および患者数に対する割合

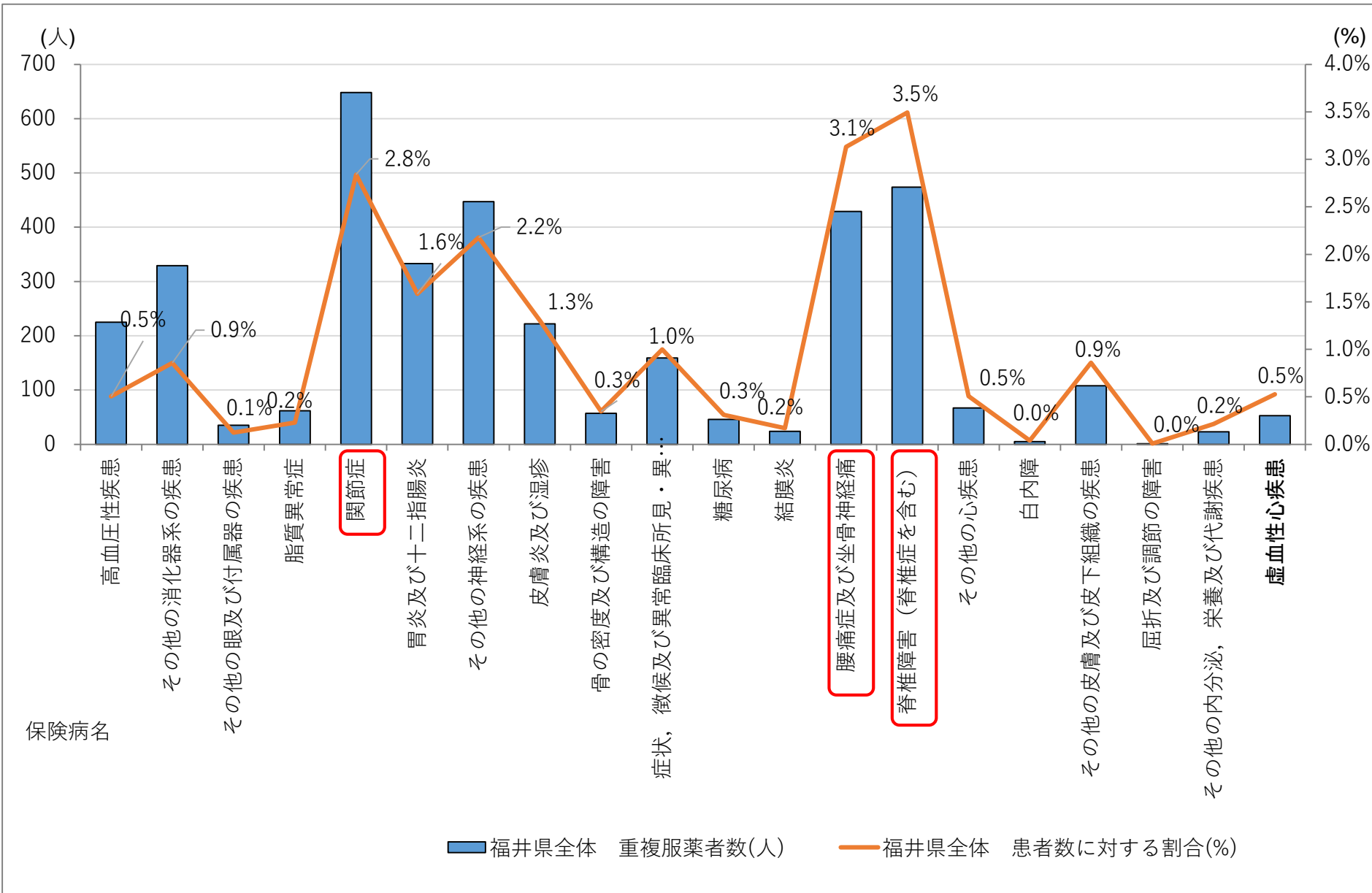


●県全体（国民健康保険＋後期高齢者医療広域連合） 多剤服薬者数および患者数に対する割合



保険病名別 重複服薬状況

●県全体（国民健康保険＋後期高齢者医療広域連合）重複服薬者数および患者数に対する割合



重複服薬 薬品・薬効ランキング

- ・重複服薬となった薬効の上位5位を国民健康保険と後期高齢者医療広域連合で比較すると順位に違いはあるが、構成は同じである。
「鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤」「消化性潰瘍用剤」「解熱鎮痛消炎剤」「その他のアレルギー用薬」「催眠鎮静剤，抗不安剤」

●国民健康保険

順位	薬品名	薬効
1	レバミピド錠100mg「オーツカ」	消化性潰瘍用剤
2	モーラステープL40mg 10cm×14cm	鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤
3	ロキソニンテープ100mg 10cm×14cm	鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤
4	カロナル錠200 200mg	解熱鎮痛消炎剤
5	カロナル錠500 500mg	解熱鎮痛消炎剤
6	ロキソニン錠60mg	解熱鎮痛消炎剤
7	マイスリー錠10mg	催眠鎮静剤，抗不安剤
8	カロナル錠300 300mg	解熱鎮痛消炎剤
9	ムコスタ錠100mg	消化性潰瘍用剤
10	ロキソプロフェンNaテープ100mg「ユートク」 10×14cm	鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤
11	ピラノア錠20mg	その他のアレルギー用薬
12	フェキソフェナジン塩酸塩錠60mg「SANKI」	その他のアレルギー用薬
13	ベポタスチンベシル酸塩錠10mg「タナベ」	その他のアレルギー用薬
14	モーラステープ20mg 7cm×10cm	鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤
15	デパス錠0.5mg	精神神経用剤
16	ロキソプロフェンNa錠60mg「トーワ」	解熱鎮痛消炎剤
17	ロキソプロフェンナトリウム錠60mg「日医工」	解熱鎮痛消炎剤
18	ハルシオン0.25mg錠	催眠鎮静剤，抗不安剤
19	レバミピド錠100mg「EMEC」	消化性潰瘍用剤
20	マーズレンS配合顆粒	消化性潰瘍用剤

●後期高齢者医療広域連合

順位	薬品名	薬効
1	モーラステープL40mg 10cm×14cm	鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤
2	ロキソニンテープ100mg 10cm×14cm	鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤
3	レバミピド錠100mg「オーツカ」	消化性潰瘍用剤
4	カロナル錠200 200mg	解熱鎮痛消炎剤
5	モーラステープ20mg 7cm×10cm	鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤
6	ロキソプロフェンNaテープ100mg「ユートク」 10×14cm	鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤
7	カロナル錠500 500mg	解熱鎮痛消炎剤
8	マグミット錠330mg	制酸剤
9	ケトプロフェンテープ40mg「テイコク」 10cm×14cm	鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤
10	フェルビナクスチック軟膏3%「三笠」	鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤
11	カロナル錠300 300mg	解熱鎮痛消炎剤
12	レバミピド錠100mg「トーワ」	消化性潰瘍用剤
13	レバミピド錠100mg「EMEC」	消化性潰瘍用剤
14	タケキャブ錠10mg	消化性潰瘍用剤
15	ネキシウムカプセル20mg	消化性潰瘍用剤
16	ロコアテープ 10cm×14cm	鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤
17	ロキソプロフェンNaテープ100mg「トーワ」 10×14cm	鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤
18	テプレノンカプセル50mg「トーワ」	消化性潰瘍用剤
19	ロキソニン錠60mg	解熱鎮痛消炎剤
20	モーラスパップXR120mg 10cm×14cm	鎮痛，鎮痒，収斂，消炎剤

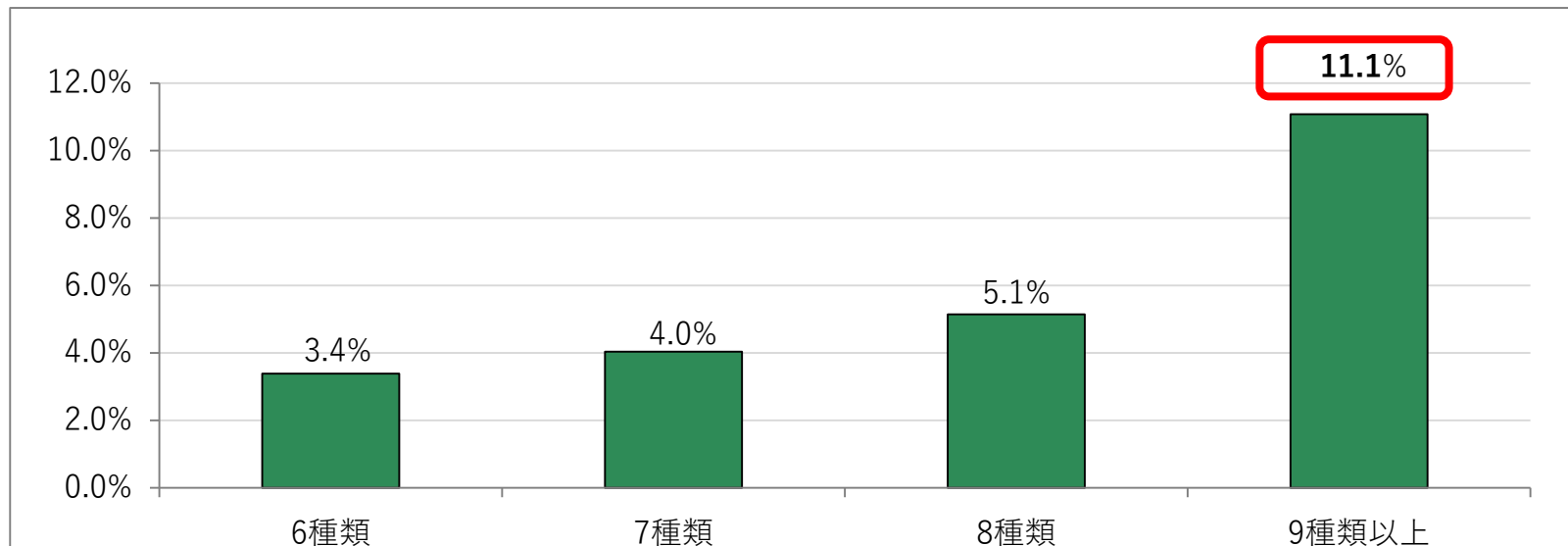
薬剤種類数と重複服薬との関係

- ・ 薬剤種類数の増加に伴い、重複服薬ありの割合も増加する。
- ・ 薬剤種類数が9種類以上の場合、11.1%が「多剤かつ重複服薬」を発生させており、8種類以下と比較すると大きく増加する。

県全体(国民健康保険＋後期高齢者医療広域連合)

薬剤種類数	該当者数(人)	重複服薬あり		重複服薬なし	
		該当者数(人)	割合(%)	該当者数(人)	割合(%)
6種類	12,963	438	3.4%	12,525	96.6%
7種類	10,817	436	4.0%	10,381	96.0%
8種類	8,672	446	5.1%	8,226	94.9%
9種類以上	22,045	2,443	11.1%	19,602	88.9%

多剤服薬者のうち重複あり該当者割合



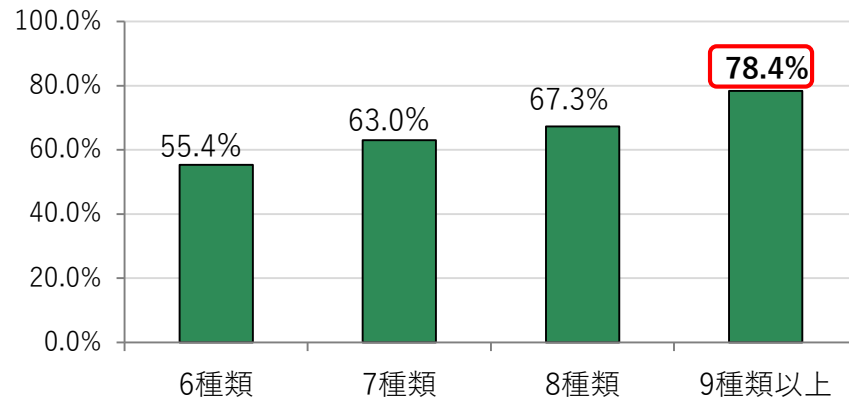
多剤服薬と慎重投与との関係

- ・ 慎重投与「有」の該当者は、薬剤種類が6種類以上でも約6割該当する。
- ・ 薬剤種類数の増加に伴い、慎重投与「有」の該当者割合はさらに増加する。

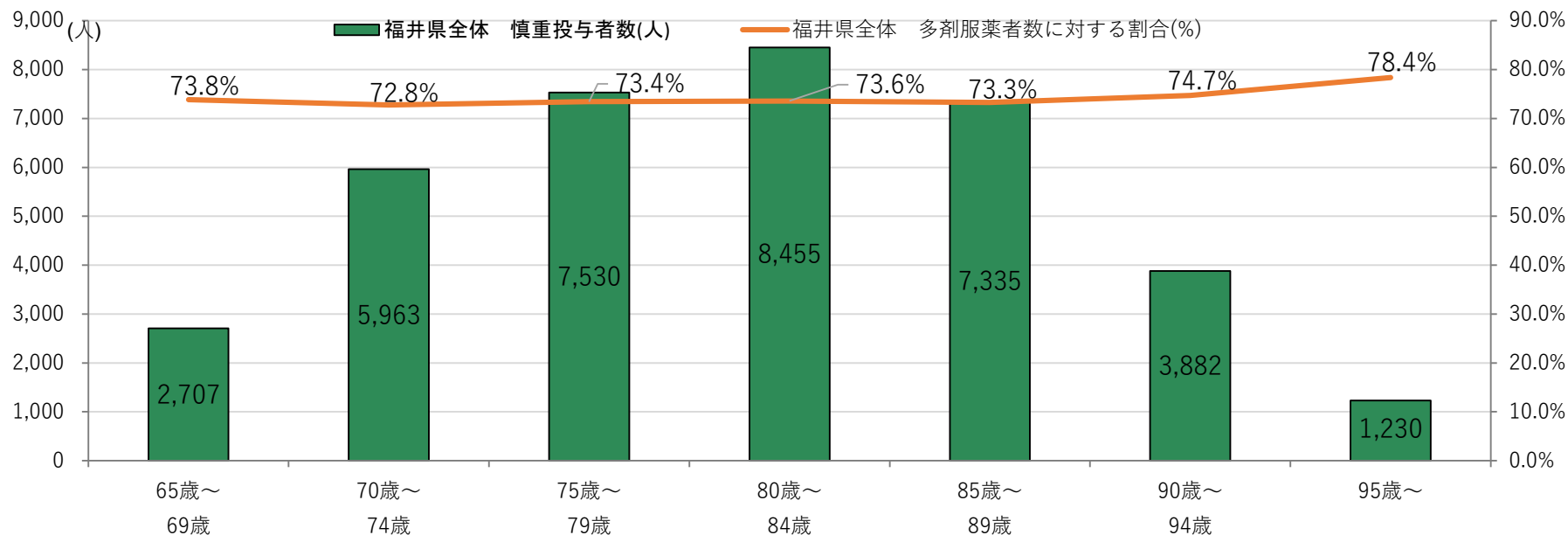
県全体(国民健康保険+後期高齢者医療広域連合)

薬剤種類数	該当者数(人)	慎重投与あり		慎重投与なし	
		該当者数(人)	割合(%)	該当者数(人)	割合(%)
6種類	12,963	7,176	55.4%	5,787	44.6%
7種類	10,817	6,811	63.0%	4,006	37.0%
8種類	8,672	5,836	67.3%	2,836	32.7%
9種類以上	22,045	17,279	78.4%	4,766	21.6%

多剤服薬者のうち慎重投与あり該当者割合

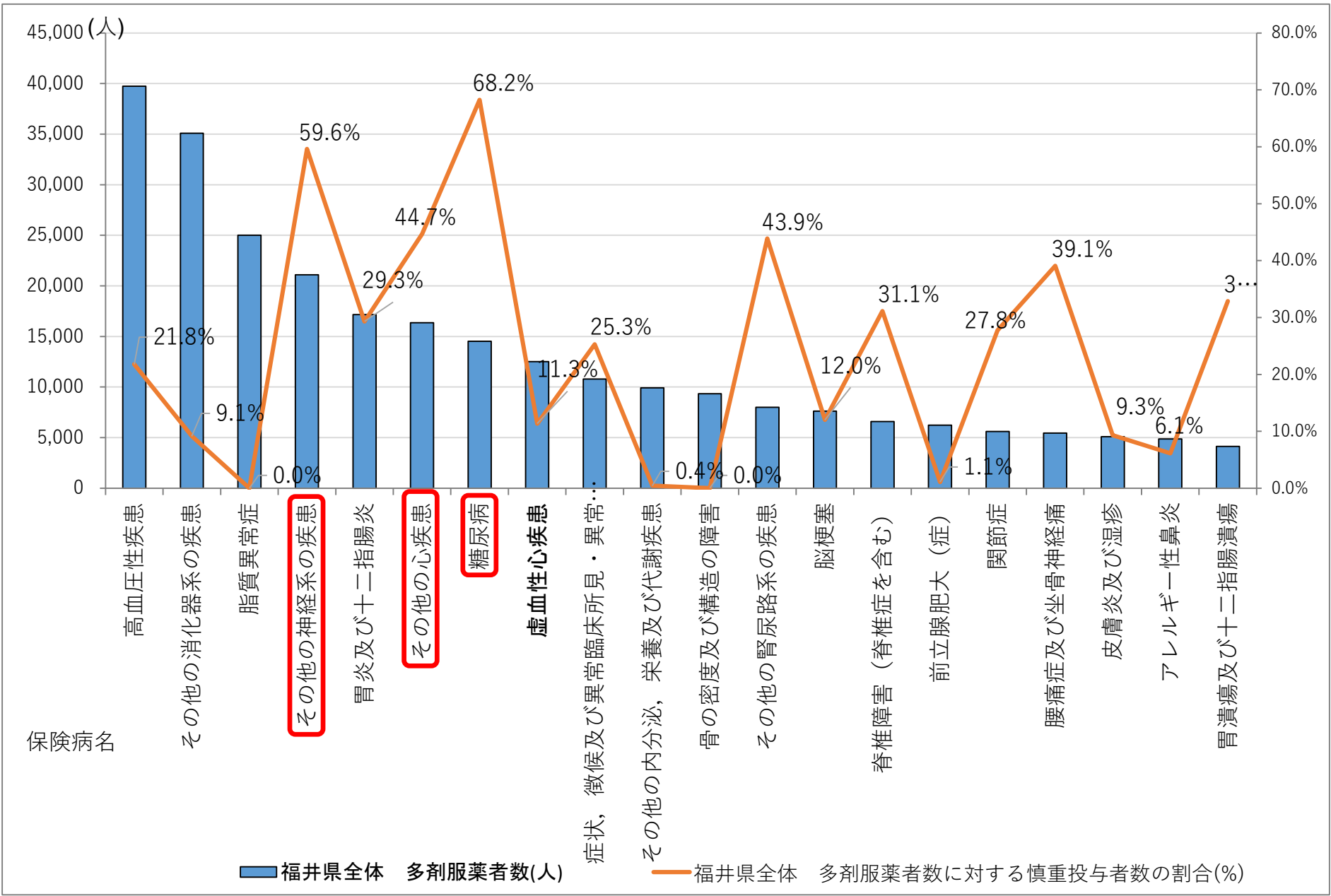


年齢階層別 慎重投与者数および多剤服薬者数に対する割合



慎重投与を発生させる保険病名

●県全体（国民健康保険＋後期高齢者医療広域連合） 保健病名別 多剤服薬者数および多剤服薬者に対する慎重投与者の割合



慎重投与薬剤 薬品・薬効ランキング

・慎重投与の要因となった薬効は、国民健康保険と後期高齢者医療広域連合で比較すると順位に違いはあるが、構成は同じである。
 ※国保：「糖尿病用剤」が多く使用されている。 後期：「利尿剤」「催眠鎮痛剤、抗不安剤」「糖尿病用剤」が多く使用されている。

●国民健康保険

順位	薬品名	薬効
1	メトグルコ錠 250mg	糖尿病用剤
2	エクメット配合錠HD	糖尿病用剤
3	フォシーガ錠 5mg	糖尿病用剤
4	ジャディアンス錠 10mg	糖尿病用剤
5	ロキソニン錠 60mg	解熱鎮痛消炎剤
6	メトホルミン塩酸塩錠 250mg MT「トーフ」	糖尿病用剤
7	デパス錠 0.5mg	精神神経用剤
8	バイアスピリン錠 100mg	その他の血液・体液用薬
9	ロキソプロフェンNa錠 60mg「トーフ」	解熱鎮痛消炎剤
10	カナグル錠 100mg	糖尿病用剤
11	ロキソプロフェンナトリウム錠 60mg「日医工」	解熱鎮痛消炎剤
12	ファモチジンOD錠 20mg「トーフ」	消化性潰瘍用剤
13	スーグラ錠 50mg	糖尿病用剤
14	フロセミド錠 20mg「武田テバ」	利尿剤
15	カナリア配合錠	糖尿病用剤
16	アゾセミド錠 30mg「JG」	利尿剤
17	ミグリトールOD錠 50mg「サワイ」	糖尿病用剤
18	プロチゾラムOD錠 0.25mg「サワイ」	催眠鎮静剤、抗不安剤
19	スージャス配合錠	糖尿病用剤
20	メトホルミン塩酸塩錠 500mg MT「トーフ」	糖尿病用剤

●後期高齢者医療広域連合

順位	薬品名	薬効
1	アゾセミド錠 30mg「JG」	利尿剤
2	フロセミド錠 20mg「武田テバ」	利尿剤
3	ダイアート錠 30mg	利尿剤
4	メトグルコ錠 250mg	糖尿病用剤
5	バイアスピリン錠 100mg	その他の血液・体液用薬
6	スピロノラクトン錠 25mg「トーフ」	利尿剤
7	デパス錠 0.5mg	精神神経用剤
8	ロキソニン錠 60mg	解熱鎮痛消炎剤
9	マイスリー錠 5mg	催眠鎮静剤、抗不安剤
10	ファモチジンOD錠 20mg「トーフ」	消化性潰瘍用剤
11	マイスリー錠 10mg	催眠鎮静剤、抗不安剤
12	エブランチルカプセル 15mg	血圧降下剤
13	プロチゾラムOD錠 0.25mg「サワイ」	催眠鎮静剤、抗不安剤
14	フォシーガ錠 5mg	糖尿病用剤
15	ハーフジゴキシンKY錠 0.125	強心剤
16	トラセミド錠 4mg「KO」	利尿剤
17	アルダクトンA錠 25mg	利尿剤
18	レンドルミンD錠 0.25mg	催眠鎮静剤、抗不安剤
19	トラセミドOD錠 4mg「TE」	利尿剤
20	ジャディアンス錠 10mg	糖尿病用剤

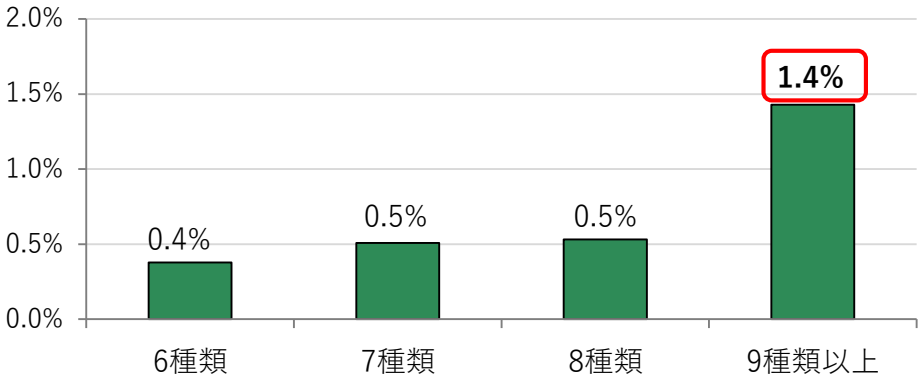
多剤服薬と相互作用との関係

・ 薬剤種類数が増加するにつれて、相互作用「有」の割合も増加する。

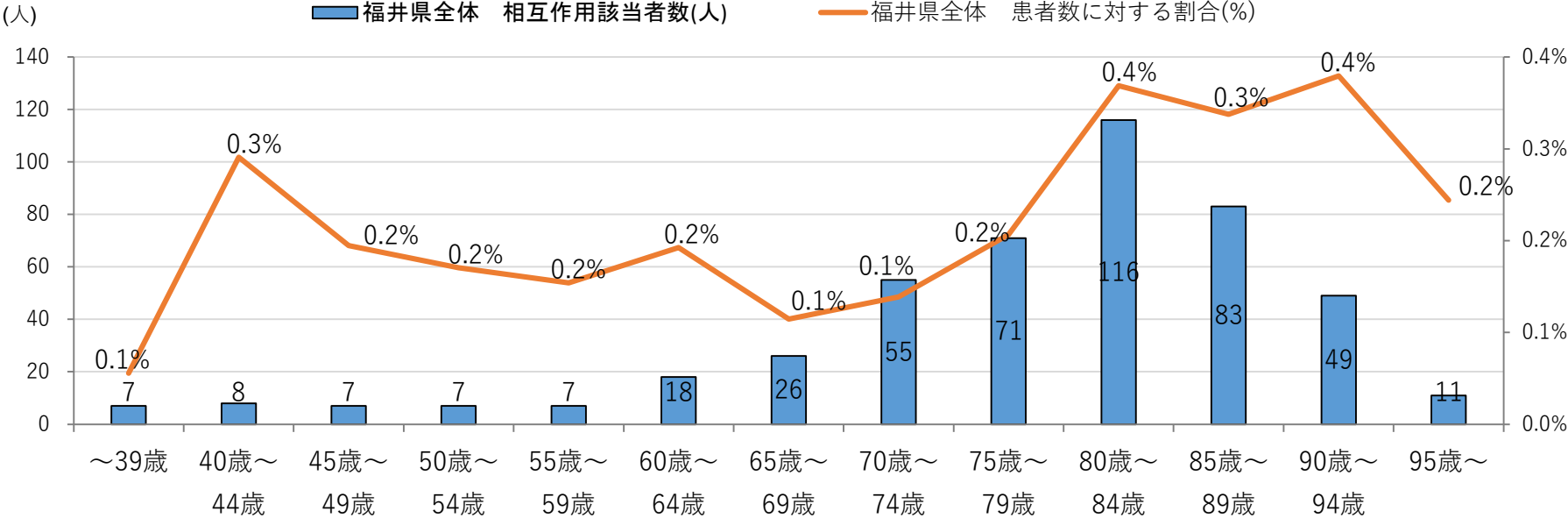
県全体(国民健康保険 + 後期高齢者医療広域連合)

薬剤種類数	該当者数(人)	相互作用あり				相互作用なし			
		該当者数(人)		割合(%)		該当者数(人)		割合(%)	
6種類	12,963	49		0.4%		12,914		99.6%	
7種類	10,817	55		0.5%		10,762		99.5%	
8種類	8,672	46		0.5%		8,626		99.5%	
9種類以上	22,045	315		1.4%		21,730		98.6%	

多剤服薬者のうち相互作用あり該当者割合



年齢階層別 相互作用該当者数および多剤服薬者数に対する割合



重複事例①

70歳代 男性

No	薬品名	数量	単位	回数	調剤日	剤型	重複	相互	慎重
A医療機関 院内	1ナトリックス錠1 1mg	2	錠	30	2/29	内服			
	1カルベジロール錠10mg「JG」	1	錠	30	2/29	内服			
	1ロサルタンカリウム錠25mg「TCK」	2	錠	30	2/29	内服			
	1ニフェジピンL錠20mg「トーフ」	2	錠	30	2/29	内服			
	1アトルバスタチン錠5mg「ZE」	1	錠	30	2/29	内服			
	1ラベプラゾールNa錠10mg「YD」	1	錠	30	2/29	内服			
	1モーラステープ20mg 7cm×10cm	70	枚	1	2/29	外用	(1)		
B医療機関 院内	1アロプリノール錠100mg「トーフ」	2	錠	30	2/29	内服			
	2アルファカルシドールカプセル1μg「サワイ」	1	カプセル	20	1/17	内服			
	2ロキソプロフェン錠60mg「EMEC」	3	錠	7	2/18	内服			○
	2エペリゾン塩酸塩錠50mg「旭化成」	3	錠	7	2/18	内服			
B医療機関 院内	2レバミピド錠100mg「オーツカ」	3	錠	7	2/18	内服			
	2モーラステープL40mg 10cm×14cm	70	枚	1	2/25	外用	(1)		
C医療機関 薬局	3アルツディス術関節注25mg 1%2.5mL	1	筒	1	2/12	注射			
	4セレコックス錠100mg	2	錠	28	2/26	内服			
	4トラマールOD錠25mg	2	錠	28	2/26	内服			
	4レバミピド錠100mg「JG」	2	錠	28	2/26	内服			
D医療機関 院内	4モーラステープL40mg 10cm×14cm	70	枚	1	2/26	外用	(1)		
	5シロドシン錠4mg「KN」	1	錠	28	2/13	内服			
	5ケトプロフェンテープ40mg「テイコク」 10cm×14cm	56	枚	1	2/13	外用	(1)		
	5アスピリン腸溶錠100mg「日医工」	1	錠	28	2/13	内服			

重複事例②

70歳代 男性

A医療機関
薬局B医療機関
院内C医療機関
薬局D医療機関
院内

No	薬品名	数量	単位	回数	調剤日	剤型	重複	相互	慎重
1	ビソプロロールフマル酸塩錠 2.5 mg 「日医工」	2	錠	50	1/30	内服			
1	アゾセミド錠 30 mg 「JG」	1	錠	50	1/30	内服			○
1	テルミサルタン錠 40 mg 「杏林」	1	錠	50	1/30	内服			
1	パリエット錠 5 mg	1	錠	50	1/30	内服	(1)		
1	ワーファリン錠 1 mg	2	錠	50	1/30	内服			
2	ネキシウムカプセル 10 mg	1	カプセル	30	2/22	内服	(1)		
2	メトホルミン塩酸塩錠 250 mg MT 「ニプロ」	3	錠	30	2/22	内服			○
2	ジャヌビア錠 50 mg	1	錠	30	2/22	内服			
2	フォシーガ錠 5 mg	1	錠	30	2/22	内服			○
3	レミニールOD錠 8 mg	2	錠	56	2/15	内服			
3	ベルソムラ錠 10 mg	1	錠	56	2/15	内服		(2)	
4	ムコダイン錠 500 mg	3	錠	7	2/12	内服			
4	クラリスロマイシン錠 200 mg 「サワイ」	2	錠	7	2/12	内服		(2)	

多剤事例① 相互作用のある事例

70歳代 女性

No	薬品名	数量	単位	回数	調剤日	剤型	重複	相互	慎重
1	フルニトラゼパム錠 2mg 「アメル」	1	錠	28	2/12	内服			○
1	アルブラゾラム錠 0.4mg 「サワイ」	1	錠	28	2/12	内服			○
1	ピペリデン塩酸塩錠 1mg 「ヨシトミ」	3	錠	28	2/12	内服			○
1	デプロメール錠 25 25mg	3	錠	28	2/12	内服		(4)	
1	サインバルタカプセル 30mg	2	カプセル	28	2/12	内服			
1	ベルソムラ錠 20mg	1	錠	28	2/12	内服			
1	センノシド錠 12mg 「YD」	4	錠	28	2/12	内服	(1)		
1	ラキソベロン錠 2.5mg	2	錠	28	2/12	内服	(1)		
1	ガスモチン錠 5mg	3	錠	28	2/12	内服			
1	フラボキサート塩酸塩錠 200mg 「YD」	3	錠	28	2/12	内服			
2	エペリゾン塩酸塩錠 50mg 「トーフ」	3	錠	14	2/19	内服			
2	チザニジン錠 1mg 「アメル」	3	錠	14	2/19	内服		(4)	
2	ロスバスタチン錠 5mg 「トーフ」	2	錠	14	2/19	内服	(2)		
2	ガスサル錠 40mg	6	錠	14	2/19	内服			
2	イルソグラジンマレイン酸塩錠 2mg 「日医工」	2	錠	14	2/19	内服			
2	ビスコジル坐剤 10mg 「日新」	28	個	1	2/19	外用			
2	ヘモナーゼ配合錠	3	錠	14	2/19	内服			
2	ツムラ大黃甘草湯エキス顆粒 (医療用)	2.5	g	14	2/19	内服			
3	アムパロ配合錠 「トーフ」	1	錠	28	2/3	内服			
3	ロスバスタチン錠 2.5mg 「MEEK」	1	錠	28	2/3	内服	(2)		
3	センノシド錠 12mg 「サワイ」	1	錠	28	2/3	内服	(1)		
3	エピナスチン塩酸塩錠 20mg 「トーフ」	1	錠	28	2/3	内服	(3)		
4	リリカOD錠 150mg	2	錠	28	2/14	内服			
4	スルピリド錠 50mg 「アメル」	3	錠	28	2/14	内服			○
4	サラジェン錠 5mg	3	錠	28	2/14	内服			
5	グリジール軟膏 0.05%	20	g	1	2/1	外用			
5	テルギンG錠 1mg	2	錠	21	2/1	内服	(3)		○
5	オロパタジン塩酸塩OD錠 5mg 「明治」	2	錠	21	2/1	内服	(3)		
6	エンペラシン配合錠	2	錠	28	2/5	内服	(3)		○
6	オロパタジン塩酸塩錠 5mg 「サワイ」	2	錠	28	2/5	内服	(3)		

A医療機関
薬局B医療機関
院内C医療機関
院内D医療機関
薬局E医療機関
院内F医療機関
院内

No	薬品名	数量	単位	回数	調剤日	剤型	重複	相互	慎重
1	テルミサルタン錠40mg「トーワ」	1	錠	56	12/23	内服			
1	アムロジピンOD錠5mg「トーワ」	1	錠	56	12/23	内服			
1	ネキシウムカプセル20mg	1	カプセル	56	12/23	内服			
1	ユーロジン2mg錠	1	錠	28	2/17	内服	(1)		○
1	プロチゾラム錠0.25mg「トーワ」	1	錠	28	2/17	内服	(1)		○
1	アトルバスタチン錠10mg「サンド」	1	錠	28	2/17	内服			
1	ビフィスゲン散 2%	3	g	28	2/17	内服	(2)		
1	酸化マグネシウム錠330mg「ケンエー」	4	錠	28	2/17	内服			
1	ウルソデオキシコール酸錠100mg「トーワ」	3	錠	28	2/17	内服			
1	モサプリドクエン酸塩錠5mg「サンド」	3	錠	28	2/17	内服			
1	モーラスパップXR120mg 10cm×14cm	70	枚	1	2/17	外用	(3)		
2	プロチゾラム錠0.25mg「トーワ」	1	錠	30	2/17	内服	(1)		○
2	ジクロフェナクNa錠25mg「TCK」	1	錠	20	2/17	頓服			○
2	エチゾラム錠0.5mg「クニヒロ」	1	錠	30	2/17	内服			○
2	ラックビー微粒N 1%	3	g	30	2/17	内服	(2)		
2	セルテブノンカプセル50mg	3	カプセル	30	2/17	内服	(4)		
3	カロナール錠200 200mg	3	錠	30	2/21	内服			
3	レバミピド錠100mg「オーツカ」	3	錠	30	2/21	内服	(4)		
3	モーラステープL40mg 10cm×14cm	70	枚	1	2/21	外用	(3)		
3	リマプロストアルファデクス錠5μg「サワイ」	3	錠	28	2/21	内服			
4	エルシトニン注20Sディスポ 20エルカトニン単位1mL	1	筒	1	2/28	注射			
4	アルツディスポ関節注25mg 1%2.5mL	1	筒	1	2/28	注射			
5	フラボキサート塩酸塩錠200mg「トーワ」	3	錠	91	11/28	内服			
5	ベタニス錠50mg	1	錠	91	11/28	内服			
6	SPトローチ0.25mg「明治」	48	錠	1	2/21	外用			
6	オロパタジン塩酸塩錠5mg「サワイ」	2	錠	30	2/21	内服			

A医療機関
薬局B医療機関
院内C医療機関
院内C医療機関
院内A医療機関
薬局D医療機関
院内

敦賀市 薬剤適正使用多職種連携プログラムについて

敦賀市

訪問看護ST

①患者教育

- ・お薬手帳持参の必要性の周知
- ・お薬手帳一元化の周知
- ・かかりつけ医療機関およびかかりつけ薬局を持つ重要性の周知



予防

敦賀市民



患者

お薬手帳持参

改善

情報連携

かかりつけ医

かかりつけ薬局

①患者教育

お薬手帳等で薬剤情報を必ず確認

- ・お薬手帳持参の必要性の周知
- ・お薬手帳の一元化の周知

敦賀市

②重複・多剤服薬者への対応



対象者の抽出

服薬情報通知

モニタリング・評価

対象者の相談対応
→患者教育

かかりつけ薬剤師・医師への
相談・情報提供

データ以外の情報把握

患者や家族の意向確認、服薬状況・健康状態の把握

②重複・多剤服薬者への対応

処方情報の確認
処方内容の見直しの
検討

- ・患者や家族の意向確認
- ・他医療機関との連絡調整、情報提供 など

処方見直し



医師への情報提供
に関する判断

- ・患者や家族の意向確認
- ・カンファレンス等による検討 など

医師への
情報提供



重複・多剤服薬多職種連携体制事業検討会
(敦賀市薬剤適正使用協議会)

※敦賀市・敦賀市医師会・敦賀市薬剤師会・その他関係機関

現状・課題整理、方策検討
事例検討、事業評価等

連携・支援

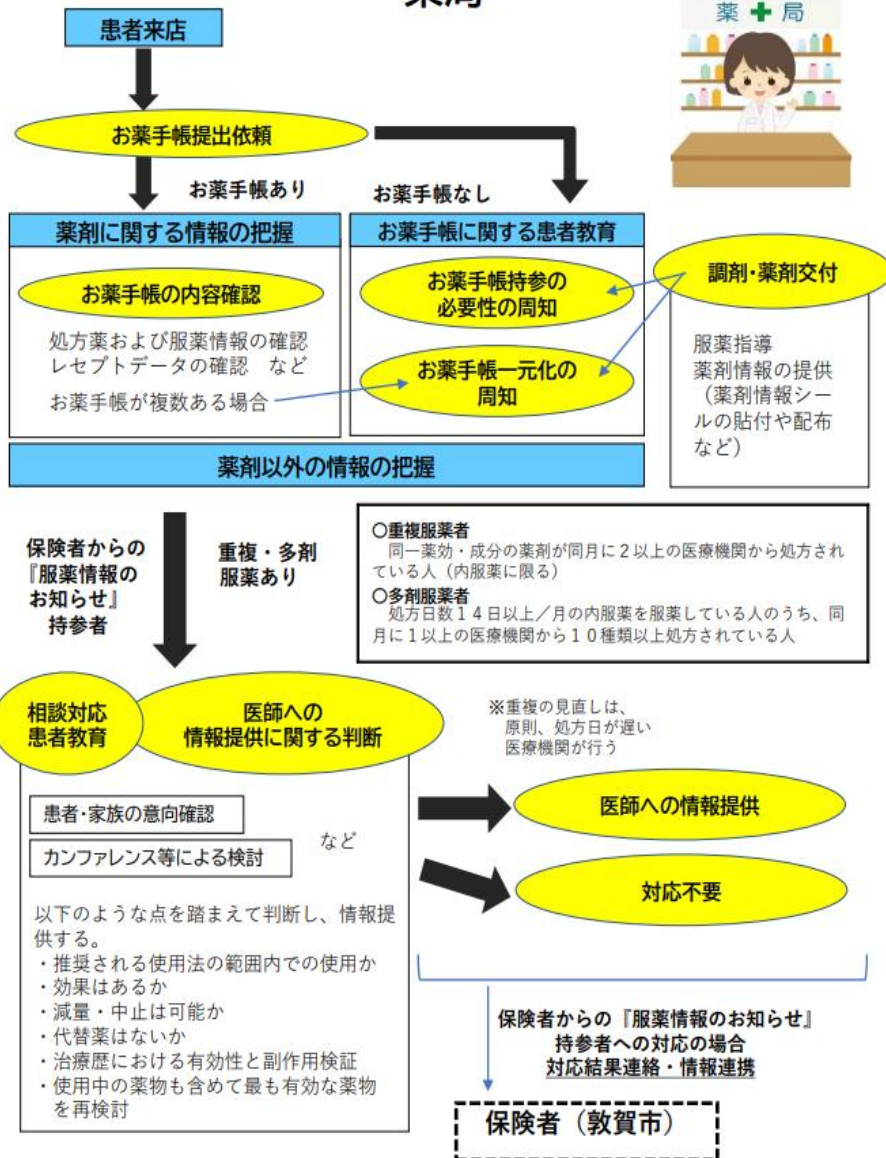
福井県健康政策課・二州健康福祉センター

連携・支援

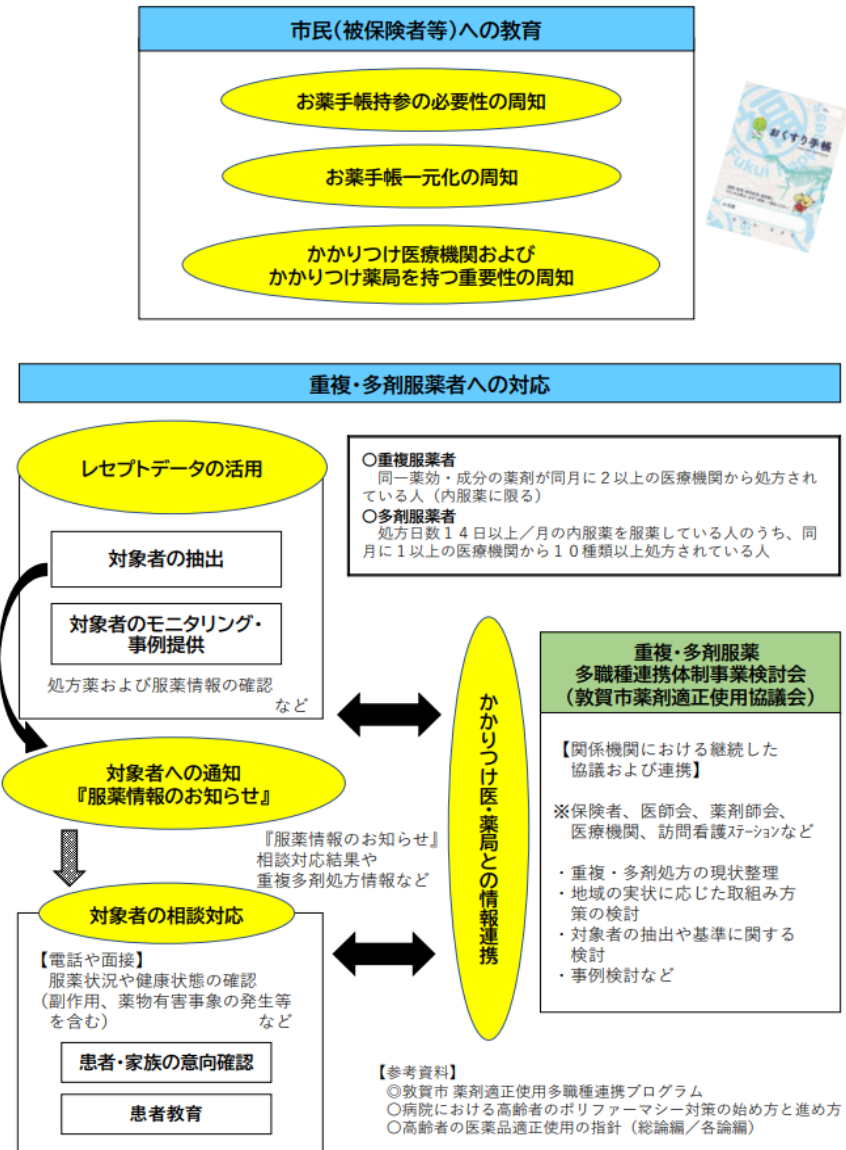
- ◎敦賀市 薬剤適正使用多職種連携プログラム
- 病院における高齢者のポリファーマシー対策の始め方と進め方
- 高齢者の医薬品適正使用の指針（総論編／各論編）

敦賀市 薬剤適正使用多職種連携プログラムについて

敦賀市 薬剤適正使用多職種連携プログラム — 薬局 —



敦賀市 薬剤適正使用多職種連携プログラム — 保険者(敦賀市) —



福井県重複・多剤服薬多職種連携体制検討事業まとめ

■モデル事業の結果・ポイント

- ・会議体を通して取組みの必要性が認識され、本事業やプログラム実践の促進に向けた協力が得られたこと

→医師会・薬剤師会主催によるプログラムスタートアップ研修会（キックオフ会）の開催
→訪問看護ステーションとも連携した幅広い患者教育の実施

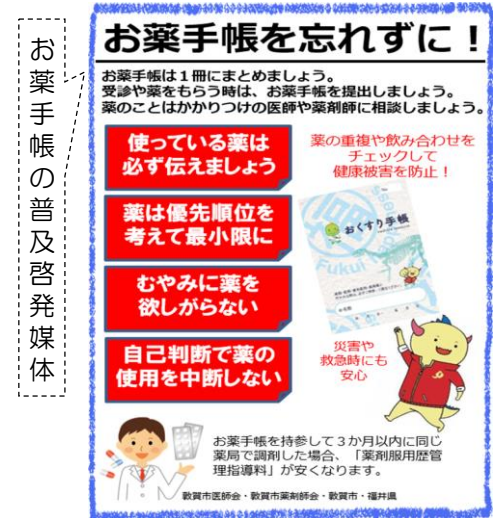
- ・プログラムの周知やアンケート調査により
関係機関における薬剤適正使用に対する意識が向上したこと

→アンケートの回収率や処方見直しへの意識、
お薬手帳の確認や手帳持参率のアップ

個人情報保護、レセプトデータの活用方法、
処方薬の複雑さ等から
課題は多い！

- ・KDBシステムによる抽出および保険者からの
通知を起点とした介入や情報連携体制が構築できたこと

→データから重複処方の割合が高い薬効分類や効果的な抽出頻度等を分析して対象者決定
→医療機関や薬局との連携体制（様式活用）により処方見直しの必要性に合った介入状況を把握



■他の自治体が参考にできるポイント

医師会・薬剤師会・保険者等関係機関からなる連携体制を構築し、
実態把握や対応策等の検討実施

→課題や効果的かつ実践可能な方法について十分検討し、
意識向上を図るための体制づくりを行うこと



～モデル地区による連携体制～

◆患者を守る医療安全のための薬剤適正使用の取組みを効果的に進めるためには、かかりつけ医や薬局の先生方の御協力が欠かせません。

◆ かかりつけ医・薬局・保険者（市町）など多職種連携が円滑に進められるよう、取組みに対し御支援と御協力をお願いします。